

市内農産物の放射性物質検査結果

【第 22 報】

市では、JAとうかつ中央の協力のもと、市内産農産物の放射性物質の安全性の確保と、生産者や消費者の不安解消のため、国の交付金を活用して放射性物質分析機器(簡易型ガンマ線スペクトロメータ)を導入しました。

これは、市がスクリーニング用として実施するためのもので、測定結果が 200Bq/kg を超過した場合、速やかに千葉県精密検査計画への組入れ等調整を行います。

1月19日(木)、市内産のいちごについて、検査を実施しました。

その結果、暫定規制値以下でしたので、お知らせします。

生産者及び消費者のみなさまには、引き続き冷静な対応をお願いします。

なお、野菜で検出された放射性物質は、ほとんどが表面に付着していると考えられるため、洗う、皮をむく、などによって汚染の低減が期待できるとされています。

○検出量

単位: Bq/kg					
栽培地	採取日	品目	放射性ヨウ	放射性セシウ	放射性セシウ

			素 131	ム 134	ム 137
鎌ヶ谷 市	1月19日	いちご (パイプハウ ス)	検出せず	検出せず	検出せず
鎌ヶ谷 市	1月19日	いちご (パイプハウ ス)	検出せず	検出せず	検出せず
鎌ヶ谷 市	1月19日	いちご (パイプハウ ス)	検出せず	検出せず	検出せず
鎌ヶ谷 市	1月19日	いちご (パイプハウ ス)	検出せず	検出せず	検出せず
鎌ヶ谷 市	1月19日	いちご (パイプハウ ス)	検出せず	検出せず	検出せず

注) 「検出せず」とは、放射性物質が存在しない、又は、定量下限値未満であることを示す。

- なお、定量下限値は以下のとおり
- 放射性ヨウ素 131 20Bq/kg
- 放射性セシウム 134 25Bq/kg
- 放射性セシウム 137 20Bq/kg

○暫定規制値(野菜類)

- ・ 放射性ヨウ素:2,000Bq/kg
- ・ 放射性セシウム:500Bq/kg
- ・ ※Bq(ベクレル):放射能の強さを表す単位で、単位時間(1 秒間)内に原子核が崩壊する数を表す。

○測定機器

- ・ 3 インチNaI(Tl)シンチレーションスペクトロメーター

○測定方法

- ・ 試料採取については、5地点採取方法に準じて行っています。測定については、空調を完備した恒温室に測定器を設置し、10時間のバックグラウンド測定を行い、1検体につき、350mlの試料を1,800秒かけて測定を行っています。

○検査方法

- ・ 「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」及び放射能測定シリーズ 6「NaI (TI)シンチレーションスペクトロメータ機器分析法(文部科学省)」、「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に基づく検査における留意事項(厚生労働省)、放射能測定法シリーズ 24「緊急時 におけるガンマ線スペクトロメトリーのための試料前処理法」(文部科学省)を準用しています。

○関連情報リンク

- ・ [千葉県\(県産農産物の放射能モニタリング検査結果\)](#)
- ・ [農林水産省\(農林漁業者の方々へ\)](#)

【お問い合わせ】鎌ヶ谷市役所(代表)047-445-1141

[農業振興課\(内線\)243-259](#)